

核兵器禁止・廃絶条約の交渉開始と締結を



岡山県原水協通信

2010年12月6日 No149
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

”草の根の声が国際政治を動かしています”

12月の6・9行動で核兵器廃絶を市民に訴え

岡山県原水協と岡山市原水協は12月6日、こし最後の6・9行動を行いました。岡山駅前でおこなわれたこの日の行動には、岡山県労会議、自治労連県本部、岡山県医労連、岡山高教組、岡山県平和委員会、岡山市職労、県原水協事務局から11名が参加しました。

県原水協中尾代表は「広島・長崎に投下された2発の原子爆弾でその年のうちに21万人が亡くなり、今なお22万の被爆者が原爆後遺症で苦しんでいます。5月のNPT再検討会議に届けた私たちの署名が国連を動かし、核兵器廃絶に展望が開かれつつあります。草の根の力で核兵器禁止・廃絶条約を作らせましょう」と訴えました。昼休みの短時間の行動でしたが、34筆の署名と500円の募金が寄せられました。



基地も核兵器もいらない

佐世保 平和大会で闘いを交流



12月2日~5日まで長崎県佐世保市で、2010年日本平和大会 in 佐世保が開かれました。大会には4人の海外代表をはじめ全国から1200人が参加しました。

大会は直前の沖縄県知事選挙で奮闘した沖縄の仲間とそれを支援した全国の熱い連帯の集会になりました。朝鮮半島で緊張状態が続く中で軍事力によらない平和的解決が求められていること、憲法9条を持つ国の役割が重要であることなど熱い議論が戦わされました。岡山県から17人の代表が参加しました。

被爆者援護・連帯募金にご協力を

広島・長崎の被爆者は全国で23万人。平均年齢75歳。病気の不安と闘いながら、核兵器廃絶のためにがんばっています。被爆者援護・連帯2000万円募金にご協力ください。

